奨学金を受けた若者たちの声

Vol. 1

掲載している若者の氏名（暮らす地域）

1. Lorena Karen Cerdán Roncal（カハマルカ）25歳
2. Ian Francheska Brigitte Quispe Palma（リマ、アウグスティーノ）18歳
3. Isela Garay Guerra（カハマルカ）21歳
4. Jakelin Iris Sivipaucar Flores（アプリマック県　アンダワイラス）

2021年10月

ー　私の人生　ー

こんにちは。私の名前はロレナ・カレン・セルダン・ロンカルです。５人兄弟で唯一の娘です。両親と２人の兄弟と住んでいます。他の２人の兄弟はそれぞれの家族とともに暮らしています。父は通りでアンティクーチョ（牛の串焼き）を売る仕事をしています。以前は母も一緒に売っていましたが、昨年母は肺病を患い糖尿病と診断されたため、仕事を辞めました。兄のエンリケ、私は親しみを込めてキケと呼んでいますが、彼は音楽イベントのアニメーションの仕事をし、大学で勉強しています。一番下の弟のルイスはカハマルカのホテル清掃員として働いています。経済的な理由で勉強を中断していましたが、今はおかげさまで再び勉強に取り組んでいます。

ファイナンシャル・マネジメント コースのテーマ発表

母と父と

私は幼少の頃から勉強することや働くことが好きでした。例えばニワトリやアヒル、クイなどの小さな食用動物を売ったり、パンやドーナツ、ビスケットなども販売していました。また、小学生や中学生のクラスや大学の基礎コースを教えたりもしていました。私の人生の中でいつも働くことと勉強することは両立していて、バランスが取れていました。

2015年、私は事故に遭いました。脊髄損傷と診断され、勉強することも働くこともできず、１年半ベッドに寝たきりになりました。神様や両親、友人の助けを借りて、私は再び自分の夢に取り組みました。その一つは、勉強していた専門キャリアを修了することでした。

詳しく言いますと、実は私が事故にあった時、両親のわずかな財産は手術や薬代に消え、勉強を続けられませんでした。ところが、日本から贈られた永山子ども基金やパチャママ基金の奨学金のおかげで、私はこの夢が叶い、再び大学で勉強することができるようになりました。

もし奨学金がなかったら、大学の勉強を続けることはずっと難しく、私と両親は大学の学費を捻出するまでに時間がかかったことでしょう。

次ページへつづく▶▶

▶▶前ページのつづき

勉強している間、私は全力を尽くして、先生方から教えてもらったことを活かして、自分のスキルと学習を向上させてきました。それは大学教育に貢献することにもなります。私は新しいことを学ぶのが好きで、同じように他の人に教えて、彼らがより良く成長するのを助けたいと思っています。

母のドリスと

父とパンづくり

カハマルカの地域病院のリハビリテーションエリアが企画したスポーツの日に、友人と（車椅子）

私が苦労したことのひとつに、企業の現場視察があった時に、車椅子でのアクセスができず行けないことがありました。しかし、そのような状況にめげず、私はいつも仕事の詳細がわかる工夫をしています。例えば、同僚に重要な瞬間を撮影するよう頼んだり、どんなテーマが取り上げられたかや技術訪問の内容についてコミュニケーションをとるようにしていました。

2021年3月から7月まで、私は学業を終えたことをお伝えしたいと思います。本当に勉強を終えられたことをとても嬉しく思っています。これは日本から贈られた永山子ども基金とパチャママ基金の尽力によるものです。もし皆様のご協力がなければ、今日の私はありませんでした。私を信頼し、また働く子ども奨学生一人ひとりの教育を信じてかけてくださり、ありがとうございました。

現在私はバチレール（大学終了資格）を取得していますが、その後論文を書いて学士号を得て産業エンジニアとして卒業することができます。そうすれば、プロの職業として働き成長することができ、また両親を助け、人のために行動し社会の発展に貢献することができます。

（おわり）

私の家族は全員が支えあって生活しています。両親は働いていて、母は家の基本的な光熱費のために働いています。父は安定した仕事に就いていませんが、いつも小さな仕事を請け負って家にお金を入れています。

姉はパートタイムで働き、大学の学費や家の余分な出費を支えています。私は母がやってる小さい商売を手伝って、生活費や食費、また自分の大学の費用を稼いでいます。下の兄弟は家で学校の宿題をしています。

私の仕事

家族と

夕食時には全員帰ってきて、その日の出来事を分かち合い、常にコミュニケーションをとってお互いの目標を助け合っています。

私たちは４人兄弟で（男２人、女２人）、私たちの家族の経済状況は基本的な水準です。両親は神様のおかげで食費と家賃を稼ぐことができていますが、私たちきょうだいは、そのわずかな稼ぎで足りないものを補って安定した生活を送っています。

永山子ども基金とパチャママ基金の奨学金にとても助けられました。両親は稼ぎが少ないので私の勉強のための資金はなく、国も私にチャンスを与えてくれません。

私は小学校を卒業してから仕事に就き、中学時代はずっと仕事をしていて、学校では1位を取れませんでした。

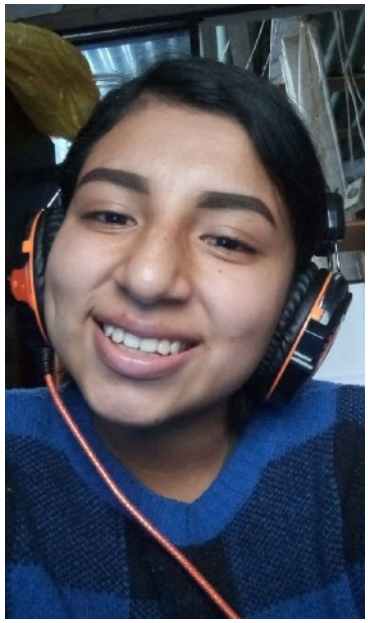
次ページへつづく▶▶

▶▶前ページのつづき

両親も私の稼ぎをあてにしていたので、私は常に働いていました。働いていても平均的な合格点をとっていたので進級には影響ありませんでしたが、学校で優秀な成績を収めるためには時間が制限されています。

この奨学金は、環境に不自由があっても優秀な成績を収める機会を与えてくれ、私をとても助けてくれました。奨学金がなかったら、勉強するためにはもっと働かなければいけなかったし、そうすると勉強する時間はもっと限られていたので、私の教育機会は大きく変わっていたでしょう。逆境の中で打ちひしがれていたかもしれません。

月曜から日曜まで働いていましたが、時間とのたたかいでした。私は肉体的にも精神的にも消耗する仕事を始めたのでまいっていて、仕事が終わる時にはとても疲れが溜まる状態でしたが、今では仕事に適応して、時間をうまく使い、食事も改善できています。



私は教師か英語通訳士として働くつもりです。言語のトレーニングを重ねることで、専攻している心理学の原動力にもなります。私の目標は他国（米国）へ行って卒業し学位を取得することです。これがあれば、自分のキャリアを支えるためのコミュニケーションや仕事ができるようになります。

（おわり）

名前：Isela Garay Guerra
地域：カハマルカ　　年齢：21歳

こんにちは。私の名前はイセラ・ガライ・ゲラ、21歳、カハマルカ出身です。母はマリア・オリビア・ゲラ・グラシア、家政婦をしています。弟が一人いて、ルイス・エドゥアルド、5月2日中学の3年生です。私たちは借家に住んでいて、母が家計を支えています。

現在私は、小学校教職課程の第８期(4年目)の学生ですが、母を助けるために週3回下宿で働いています。母は弟の学費や家の食費、家賃を払わなければならず、家の経済状況は非常に厳しいからです。

私が勉強を続けられるのは、永山子ども基金の奨学金のおかげです。私が勉強を続け、母を支えるには、この支援がとても重要です。もしこれを受けていなかったら、自分の夢を実現することはできなかったでしょう。

私の人生において、父を失ったこと、自分たちの家を持っていないこと、家族に経済的な余裕がないこと、オンラインの世界に適応できないことなど、多くの困難がありました。しかし、みなさんのサポートのおかげでこれらをすべて克服することができます。学習過程を終えるプロセスにおいて、家族、特に母に貢献できるようになります。教師の給料が少ないのは事実ですが。でも、必要としている人、勉強を続けたいと思っている人には、小さなことでも協力していきたいと考えています。

学業が終わったら、まず仕事に就き、質の高い教育を提供し、許されるのであれば法律を学びたいと思っています。同時にお金を貯め、毎日私のために頑張ってくれている母に最高のものをプレゼントできるようにしたいです。（必要としている人たちへのサポートや、マントックの協力者として活動することも続けます）

私の家族は結束の強い家族です。前に進み基本的なニーズを満たすため、常に外に働きに出ねばなりません。両親はいつも私たちに、生計を立てることや、途中でどんな逆境にあっても目標を達成するために闘うこと、そして人生や将来においてよりいい人間になることや職を持つことを教えてくれました。

４人のきょうだいがいて、私を含めると５人きょうだいです。私の家には、私の両親と小さな甥っ子、姪っ子を合わせて、合計10人が住んでいます。

環境保護の清掃活動

私は５人きょうだいの４番目です。私は幼い頃から、母がアンダワイラスの日曜市で毛布やおもちゃを売るのを手伝っていました。お金がなく経済的に困窮していたので、私は自分の露店を開き、家族を助けるためにアクセサリーを売っていました。私は一生懸命働き、家族全員で努力したおかげで、今は私たちは基本的な生活を送ることができ、奨学金の支援のおかげで勉強を続け、より良い未来を築くことができます。

この奨学金で、大学の学費や書籍、インターネットなどの費用をまかなえます。学業の成績のためにも、勉強を続けて将来良い職業に就くためにも、心の支えになっています。

次ページへつづく▶▶

▶▶前ページのつづき

もし奨学金のサポートがなかったら、私は自分の目標や夢を達成するためにもっともっと努力しなければなりませんでした。私はいつも仕事や勉強をするように教えられてきたので、もし奨学金がなかったら、自分の目標や夢を達成するために２倍の努力をするでしょう。

ナソップに所属するすべての学生をサポートしてくださることに無限の感謝します。私の目標を達成する上でとても助けになるサポートです。自分の将来をより良くするためよい職業に就きたいと思います。

最も苦労したのはパンデミックで、家族の多くがコロナに感染しました。ストレスがたまったし、またオンライン授業に参加するのはとても大変でした。今は、ストレスは克服し、オンライン授業に適応できています。それは、感染せずに大切な人の面倒をみる唯一の方法だからです。

自分のベストを尽くし、自分の知識を通して目標を達成できなかった人を助け、自分自身の人生と人の人生にポジティブな影響を与えたいと思っています。

私のビジョンは、仕事や大学の準備のために、誠実で積極的な人になることです。リーダーになること、自立すること、そして人生のあらゆる面で知識を深めることを学ぶことです。家族や友人に最善を尽くし、よい弁護士になり、結婚して子どもをもち、仕事で解決策を生み出し、イノベーションを起こすことです。人生を愛し、良くも悪くも与えられたすべてのものに感謝すること、他の人の手本になること、そして偉大なプロフェッショナルになることです。

（おわり）